
ろくでもねえファーストフード店・ネタ系かもね

青木弘樹

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ろくでもねえファーストフード店・ネタ系かもね

【Nコード】

N8399U

【作者名】

青木弘樹

【あらすじ】

ネタ系です。二人のやりとりをお楽しみくださいませませ。

私は近所に出来たという新しいファーストフード店『ナクドマルド』におもむろに入った。

見るからに怪しい（つかパクリ？）店だが、店員は可愛かった。そこの一部始終をご覧ください。

『いらっしゃいませー！ようこそマク…ナクドマルドへ！』

「いきなり間違えそうになっ たな」

『本日はこちらでお召し上がりですか？』

「ええ」

『煙草は吸われますか？』

「いいえ」

『大麻は吸れますか？』

「吸わねえよ。つか、吸っていいのかよ」

『許可は得ております』

「誰にだよ。誰も許可出さねえだろ」

『それではご注文が決まりましたら、お席のボタンでお知らせ下さいませ』

「ファミレスかよ。そんなシステムじゃないだろ」

『では今すぐ、ご注文ですか？』

「普通そうだろ」

『かしこかしこまりました、かしこー』

「古いんだよ」

『では、大きい声で張り切ってどうぞー』

「カラオケ大会だよ。ったく…えっとねー」

『本日、照り焼きバーガーがお安くなっておりますが?』

「ああ、そうなの?」

『嘘でございます』

「嘘だよ。なんなんだよ、お前は」

『普段はかわいい女子高生でございます』

「自分で言っなよ。まあ、ちょっと許せるけどよ」

『うわ、きもーい』

「うるせえよ。お前バカか」

『し注文をどうぞー』

「流れ、ぶった切ったな。ええと…じゃあダブルチーズバーガーのセットで」

『ダチバのセットでございますね』

「略してんじゃねえよ」

『ダチバ・セット、入りまーす!』

『ダチバ、了解ー!』

『ダチバ、ありがとうございます!』

「うるせえな。なんか恥ずかしいわ」

『ポテトのサイズ、LまたはMまたはZがございますが?』

「Zって何だよ。ちょっと興味あるじゃねえか」

『実はZなんてありません。嘘でした。てへっ?』

「むかつくな…」

『サイズはどうされますか?』

「じゃあ、腹減ってるからLでいいよ」

『かしこまりました。ちなみに私の3サイズはお聞きになりますか?』

「聞いてもいいのかよ」

『うわ、やっぱりきもーい』

「もう勝手に言ってるよ」

『ではドリンクのサイズはどうされますか?』

「ドリンクもLでいいよ」

『かしこまりました、あざーす!』

「雑に言っ てんじゃ ねえよ」

『では、お会計、250円でございます』

「安いな、おい。これから毎日来るよ」

『うわ、きもーい。店長、ストーカーですー』

「絶対、毎日来てやるからな。覚えとけよ」

しかし…あまりにも安すぎて採算が取れないため、この店は約1ヵ月で潰れてしまった。

残念だ。非常に残念だ。

おしまいっ

（後書き）

ありがとうございました。
小説も書いております。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8399u/>

ろくでもねえファーストフード店・ネタ系かもね

2011年10月9日23時41分発行